



いしずえ整形外科

長年にわたる整形外科診療の経験を生かし 迅速な診断治療・高度な手術を提供

**高度な手術も可能な
豊富な経験による治療**

現在では高齢化が進み変形性関節症や腰部脊柱管狭窄症、骨粗鬆症などが増加し、20年前とは異なる治療が主流となりつつある。高齢といっても健康状態次第では高度な手術も可能だ。手術をしない治療も進化し、多忙な社会人に対し迅速に症状が改善する治療も確立されつつある。それを使い分けるには手術をしないという見極めも重要である。

これらの治療の実現に向け、JR戸塚駅前に位置する、いしずえ整形外科は大

院長 大久保 俊彦

おおくぼ・としひこ ●1983年、杏林大学医学部卒業後、日本医科大学麻酔科や横浜市立大学整形外科、横浜南共済病院への勤務、大西総合病院整形外科部長、センタール長を経て、いしずえ整形外科を開設。92年に横浜股関節研究会を設立。2007年にNPO法人骨・関節研究会を設立。日本整形外科学会認定整形外科専門医など



久保俊彦院長が4人の臨床経験豊富な医師と協力し、それぞれの得意分野を生かした治療を地域で実践している。対象とする疾患も各種関節疾患から腰痛、スポーツ障害、リウマチ、五十肩、外反母趾に至るまで幅広い。

「迅速な医療を提供できるよ
う、メディカルチェックで問題点を把握し、早期に改善することを中心とします」と方針を語る大久保院長。痛みを取る各種ブロック治療や東洋医学的治療、ストレッチの指導など、軽度の症状なら受診当日に治療まで終えることも数多い。

同院の治療の裏付けとなるのは、数々の病院で第一線に立って人工関節手術、骨切り術に始まり骨折の治療まで数多く携わった大久保院長の経験だ。特に人工関節の再置換術（入れ替え術）、骨切り術による関節再建術などに力を入れ、今も2つの病院と協力して多くの手術を行うほか、技術を要する両足同時手術も積極的に取り組む。手術以外にも「骨・関節研究会」を立ち上げ、腰・股関節・膝の連動から術前後の動きを



人工関節の位置設定や筋の処置などを工夫した手術により術後早期復帰を始め健康人と同等の機能を目指す

より多くの患者を 救うことを目指す

徹底研究し、理想的な動きを解明してきた。それを生かし、より合理的に動けるエクササイズや歩行訓練にも力を入れる。

大久保院長は、今以上に治療の高度化を目指している。例えば、「骨・関節研究会」を発展させ、研究所とすることも構想している。

「最近、人工関節手術後に金属アレルギーによる関節の不具合が急に生じた症例があり、稀なケースのため対処に工夫を強いられました。体質や機器の状況は常に変化します。そのため、他施設や先進医療の新しい情報を常時取捨する必要があるので」と意図を語る。あわせて検討しているのが、病床の設置も含めた施設の



機能向上のためにエクササイズも活用、現在も研究を重ねる

診療科目：整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科
診療時間：月～金 9:00～12:30 / 14:30～18:30
土・日 9:00～12:30
※受付時間は午前12:00、午後18:00まで
休診日：火・祝
〒244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町16-12 フタバビル501
TEL.045-881-1188 <http://ishizue-seikei.com/>
●骨・関節研究会ホームページ
<http://home.s04.itscom.net/kansetu/>
●横浜股関節研究会ホームページ
<http://home.f08.itscom.net/hipjoint/>

「患者さんの状態をよりよくするため、何ができるか常に考えています」と大久保院長は語り、理想の整形外科診療を求めて邁進し続ける。取材/鈴木健太